

令和 5年 11月 1日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 佐々木 豊治

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 5年 10月 28日 (土) 13:30~17:30

2. 研修内容

- 「輝け議会 対話による地方議会活性化フォーラム」
- ・大正大学教授 江藤俊昭氏の講演
 - ・西脇市議会 林 晴信議長の話
 - ・西日本新聞 前田 隆夫氏の話
 - ・グループ討議
 - ・ディスカッション

3. 研修先

安芸高田市民文化センター

4. 調査経費 8,480 円

(経費内訳 交通費 高速代 1,185 円 ガソリン代 800 円
セミナー受講料 6,000 円 振込料 495 円)

5. 調査研究活動の概要

別紙



どうする？2元代表制の中での議会の役割 輝け！議会対話による地方議会活性化フォーラム

2023年10月28日

安芸高田市民文化センター

◆大正大学 江藤俊昭先生

地方自治の根幹は議会であり、合議体である議会に重要な権限が与えられている。
地域経営は住民が起点でそして首長と議会がいる。

行政にも議会にも住民が参加する。

2元代表制とは政策競争。

議案審査が重要で重要な議案は参考人を呼んで聞く。

討論も1人一回だけで終わらず3回行うところもある。

首長と議会は癒着も不毛な対立も避ける。

住民への公開と参加がセットで決まったことを伝えるのではなく、決まる過程を伝え、住民と一緒に作る。

◆西脇市議会 林晴信議長

議員が市民と話すことをためらわない。十分に説明を。

委員会は所管事務調査をどれだけしたかが大事で、一番のきも。

議員間討議は何かを作る作業で修復して埋めること。反対すると合意形成にならない。

◆西日本新聞 前田隆夫

住民と議会の関係が希薄、細っていないか。

まちづくりは、1人ひとりに市民がこんなふうに生きたい、こんな風に生活したい、こんなまちにしたいという「想い」から出発するもの。

【所感】

講演終了後はグループ討議、安芸高田の状況説明、そしてディスカッションも行われた。

全体を通して強く感じたことは、議会が住民を巻き込む取組はどういうものかや、議員間討議は自分の主張だけでは討議にならず、対話しながら何かを作り出す作業が大事ということ。

また議案などの審査について、議会議員には審査に向けての専門知識が少ないこともあり、参考人をどんどん呼んで、より専門的な内容を把握しながら審議することが重要である。